

第192回 教育研究評議会要録

日時 令和3年2月17日(水) 13時00分～14時52分
場所 遠隔会議：応接会議室，各研究室等
出席者 今岡学長，藤原理事，小路田理事，小川理事，野村理事，平井理事，河本副学長，成瀬副学長，吉村副学長，安田副学長，久保副学長，野村文学部長，渡邊理学部長，黒子生活環境学部長，高田人間文化総合科学研究科長，石崎評議員，中山満子評議員，棚瀬評議員，山内評議員，中山徹評議員，林井評議員，柳澤評議員
欠席者 三成副学長
列席者 三野監事，福田監事，岩阪事務局次長／総務・企画課長，桑原国際課長，川村研究協力課長，林財務課長，清水施設企画課長，鱸学務課長，西村学生生活課長，早川入試課長，横井学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録を確認。

I 審議事項

1. 学内諸規程等の改正等について

(1) 国立大学法人奈良女子大学安全保障輸出管理規程の一部改正について

研究協力課長から，資料1により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，令和3年4月1日付けで施行することとした。

(2) 奈良女子大学利益相反マネジメントポリシーの一部改正について

研究協力課長から，資料2により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで施行することとした。

(3) 国立大学法人奈良女子大学共同研究取扱規程の一部改正について

研究協力課長から，資料3により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，令和3年4月1日付けで施行することとした。また，本規程の改正に併せて，「共同研究の受入れに係る間接経費の取扱いについて（平成16年5月28日学長裁定）」を廃止することとした。

(4) 奈良女子大学副専攻プログラム実施要項（案）の制定について

小川理事から，資料4により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，令和3年4月1日付けで施行し，平成30年度入学者から適用することとした。

(5) 奈良女子大学教育計画室設置要項の一部改正について

学務課長から，資料5により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで施行し，令和2年12月2日付けで適用することとした。

2. 令和元年度内部質保証のモニタリング改善計画報告書について

小路田理事から，令和2年12月開催の本会議で審議したモニタリング結果について，内部質保証体制に則り，評価企画室から12月23日付けで教育計画室，人間文化総合科学研究科，評価企画室の3部局に計4つの改善事項の検討を依頼し，報告を求めたところ，このたび改善計画報告書が提出されたので，令和3年2月5日の評価企画室で審議した。ついては，本日は教育研究評議会でも審議願いたいとの発言があった。

資料6により，改善計画に関する説明があり，それぞれについて審議の結果，各担当組織から回答の改善計画のとおり進めることを了承し，評価企画室から各担当組織に通知を行うこととした。

3. 橿原市との協働連携に関する基本協定書の締結について

総務・企画課長から、資料7により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

4. 令和3年度一般選抜出願状況について

小川理事から、資料8より令和3年度奈良女子大学一般選抜出願状況について説明があり、文学部と理学部は近隣府県からの出願が減っている旨の説明があった。また、以下のとおり意見交換が行われた。

理学部長から、今年度は新型コロナウイルスの影響で高校を訪問しての広報活動が行えなかったことが影響しているとの発言があった。また、定員割れの化学生物環境学科環境科学コースについて、大手予備校が環境科学コースの難易度を最も高く出していたことにより出願を控えたことが考えられるとの発言があった。さらに、来年度に向けて広報を強化するため、ここ数年の志願者の地域別分布を調べていることの説明があった。

山内評議員から、新型コロナウイルスの影響でオープンキャンパスをオンラインで実施したことも広報が弱かった点であること、また、オープンキャンパスで用いたコンテンツを大学ホームページで閲覧できるようにしていたが、コンテンツの場所が分かりづらかったとの意見があった。この意見に対して、小路田理事から、来年度に大学ホームページのリニューアルを行うので、様々な提案を出していただきたいとの要請があった。

人間文化総合科学研究科長から、高校の先生から奈良女子大学を薦められることが出願動機として多い傾向があり、そうした高校の先生も定年などで入れ替わりが起きているため、新たなネットワークの構築が必要であるとの意見があった。

文学部長から、近隣の高校の先生から話を聞いたところ、法人統合の内容が正しく理解されておらず、大学合併と理解して先行きの不透明感を持っているとのことだったため、大学のホームページで誤解を解くような周知が必要であるとの意見があった。

学長から、出願の際に受験生に対して併願大学を問うアンケートを実施し、情報収集を行っている大学もあり、今後検討が必要である旨の発言があった。

5. その他

なし

II 報告事項

1. 第273回役員会について

学長から、資料9により報告があった。

2. 奈良教育大学との連携協議について

学長及び小路田理事から、資料10-1～10-4により、奈良教育大学との連携協議の進捗について報告があった。また、中山満子評議員から、資料10-3の「幼稚園・小学校教員の免許授与について、共同教育課程を編成して両大学が1つの教職課程（学位プログラムと対応）を企画・運営する。」の記載について、具体的にどのようなものになるのか、特に学位プログラムと対応するということはどういうことか説明を聞いたうえで議論が必要であるとの意見があり、小路田理事から、改めて相談させて頂くとの発言があった。

3. 工学部設置に係る答申について

学長から、資料11により説明があり、工学部の設置が認可されたこと及び開設にあたっての附帯事項について報告があった。

4. 国大協通常総会について

学長から、資料12-1及び12-2により、1月29日に行われた国立大学協会の通常総会について報告があった。

5. 令和3年度運営費交付金伝達額について

財務課長から、資料13及び参考資料1～3により報告があった。

6. 競争的資金等の間接経費の取り扱いについて

藤原理事から、資料14により報告があった。

7. 令和2年度実施大学機関別認証評価結果（案）について

小路田理事から、資料15により、大学機関別認証評価について原案の提示があり、大学評価・学位授与機構より評価基準を全て満たしていること、大学院博士後期課程の定員充足率の問題等の指摘があったことの説明があった。

8. 第3期中期目標期間の教育研究の状況についての評価（法人評価）について

小路田理事から、2月2日に大学改革支援・学位授与機構のヒアリングを受けたこと及び今後のスケジュールについて報告があった。

9. 第4期中期目標・中期計画の検討状況について

小路田理事から、資料16により、第4期中期目標・中期計画の策定に向けての進捗について報告があった。

10. 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業申請について

藤原理事から、資料17により、科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業に申請したことについて報告があった。

11. 大学改革推進等補助金（デジタル活用教育高度化事業）「デジタルを活用した大学・高等教育高度化プラン」計画調書について

学長から、資料18により、大学改革推進等補助金（デジタル活用教育高度化事業）「デジタルを活用した大学・高等教育高度化プラン」に申請したことについて報告があった。

12. 令和3年度教育研究評議会等開催日程について

河本副学長から、資料19により報告があった。

13. 次期教育研究評議会評議員について

学長から、次期教育研究評議会評議員について、部局選出の評議員に関し、部局からの選出を受け、学長が以下のとおり指名するとの報告があった。また、学長から、任期は令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年となることの説明があった。

- ・次期文学部選出評議員 : 鈴木 広光教授
- ・次期理学部選出評議員 : 酒井 敦 教授, 柳沢 卓 教授
- ・次期生活環境学部選出評議員 : 鈴木 則子教授
- ・次期人間文化総合科学研究科選出評議員 : 高田 将志教授, 柳澤 有吾教授

学長から、部局選出の評議員の法的地位は国立大学法人法第二十一条第2項第四号に「その他教育研

究評議会が定めるところにより学長が指名する職員」と規定されており、その選任には部局の選出と学長の指名の両方が必要であり、今回、生活環境学部から選出された2名のうち1名について、この度の学長選考に関わって、公の場での資料提示において、学長選考会議議長に対し不当な圧力を加えようと呼びかけた人物であることを理由に、指名責任を有する学長として指名できないため、生活環境学部に再考願いたいとの依頼があった。

柳澤評議員から、評議会構成員に対して文書として示したうえで、この問題が評議会にとってどのような問題を持つのかを検討する時間をいただきたいとの要望があり、学長から、生活環境学部長に文書を渡そうと考えているとの回答があった。

人間文化総合科学研究科長から、今回の件について正確な事実確認が必要であること、学長が説明した内容を記録に残すことが必要であるとの意見があり、学長から、氏名を伏せたうえで、記録に残す旨の発言があった。

14. 令和3年度入学宣誓式について
河本副学長から、資料20により報告があった。
15. FD研修会の実施について
小川理事から、資料21により報告があった。
16. 各室等からの報告について
なし
17. その他
なし

以上